



(第 20 図)

(14) 飛騨国図 (第 20 図)

年代 17 世紀

寸法 95×45

所蔵 国立公文書館(176—282—91)

この図は筆写図で、概要を記した国絵図である。山を緑に、川を青色に、道を赤色に、山の縁どりを灰色に仕上げている。位山道、野麦峠越えの道は記されず、平湯から安房峠越えの道「大峠」が記される。古城として神岡(釜崎)、増島、萩原(諏訪)、下原が朱印で記されるが、高山は古城とされていないので金森時代の様相を記した絵図であろう。

端書に、四郡高三万八千七百六拾四石とある。

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。